

補助犬と使用者に寄り添う支援

働く犬

コミコミ紙



目のぼんちゃん
盲導犬 ジエドフ

発行：働く犬を支援する会 URL: <http://www.hatainu.com/> TEL: 0463-54-4860 〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田 594-32

初夏の甲斐路バスツアー はた犬旅の会

補助犬育成施設の研修と会員メンバーの親睦を図るための恒例の年中行事となった「はた犬旅行会」は、6月9日～10日1泊2日の日程で実施しました。今回は5人の盲導犬ユーザーに同伴3人、ボランティアさんほか4人、当会の理事長ら6人のスタッフを合わせた過去最多の18人が参加しました。同行のワンコたちは盲導犬4頭、引退犬1頭のほかに同伴がOKのペット犬2頭です。前回に続いてボランティアの芹澤いづみさんにツアープランと共に二日間にわたる進行役を務めていただきました。

新設の「盲導犬の里 富士ハーネス」を訪ねて

9日の朝、平塚を出発したチャーターバス「はた犬号」は中継地のJR八王子駅前で合流の参加者たちと共に中央高速道八王子ICから静岡・富士宮市へ。梅雨入りに合わせたかのように雨の中で雄大な富士山は雨雲に覆われて姿を見せませんでした。

午後2時過ぎ、訪問先の日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」に到着。ここは昨年秋に開設した日本盲導犬協会の新施設で、既存の育成訓練施設にはないユニークな設計による構造が随所に現れていました。同協会の東京本部から私たちの訪問が連絡されていて受付で応対に現れたのは、かつて茅ヶ崎訓練所で最初の男性訓練士として採用された金井政紀さんでした。現在はここで訓練部のマネージャーを務められています。金井さんは当会理事長の下で育てられたパピー犬「うらら」が、栃木盲導犬センターで訓練を受けていた頃に勤務されていて、同行の「引退犬うらら」と10年ぶりの対面になりました。

安住の楽園、引退犬棟見学

金井さんらスタッフの案内で施設内を見学しましたが、広々とした敷地の中の施設は将来の拡張を見込んだ設計で周辺環境に対する様々な配慮が施されています。また、施設では週1回の休館日と年末年始を除いて随時見学を受け入れていることも従来の施設には見られない特徴です。

見学で注目したのは引退犬用の棟です。30畳ほどの室内は床暖房が施され、グルーミング室完備、診察治療室隣接の好条件。4頭の引退犬が居心地の良さそうな木製の仕切でできるスペースでくつろいでいました。また、施設の一角には引退犬が最期を迎える時のた



盲導犬の里 富士ハーネス

めに経過観察室が設けられていて、ここで引退犬は関係者たちから長年の務めをねぎらわれる中で看取られて永遠の眠りにつきます。見学のユーザーさんは説明を聞きながら思い思いに手を触れながら雰囲気にはたっていました。

当会では引退犬のためのケア介護ホームを準備中ですが、引退犬棟の見学ではいろいろと参考になりました。

日本盲導犬総合センターの見学を終えた一行は、静岡から山梨へと宿泊地の石和温泉和風旅館「みわ」に向かいました。ここはNHK大河ドラマ「風林火山」の御当地とあって、至る所に掲げられたタイアップの幟が目につきました。

旅館は補助犬の受け入れOKということでしたが、到着の盲導犬たちを見たのは初めてのせいか不安を隠しきれない対応ぶり。ところが夕食のテーブルの傍らで静かに伏せている盲導犬を目にするや「おとなしくて、お行儀が良いワンちゃんたち」と驚きを込めた称賛の声が上がっていました。同伴のパートナーたち、マナーも行動も100点満点でした！

梅雨空の下、デザートに「さくらんぼ狩り」

チェックアウトを終えてからバスは再び中央高速道の白根ICから白根町の果樹園へ。小雨模様の中を今は旬の「さくらんぼ狩り」が待ち受けていました。1人当たり料金均一の採り放題、食べ放題ということで、良く熟れている実を手を伸ばしては、もぎ採るはしから次々と口へ。実付きのいい高い枝には脚立に上がってルビー色に熟した甘酸っぱい味覚を堪能しました。

この後、バスは中部横断道から中央高速道一宮御坂ICを降りた所で昼休み。メニューは郷土料理の「ほうとう鍋」にワイン、青天井を見上げれば豆粒ほどの可愛らしい実を付けたぶどう棚が一面に広がる、ぶどう園ならではの野外レストランでした。

パートナーを「二人乗り自転車」にチェンジ

帰途のコースには様々な「お楽しみプラン」が用意されていて昼食後に立ち寄った所は新緑に包まれた金川の森公園。隣接したドッグラン公園は雨のためグラウンドコンディション不良で予定していたドッグランは中止してサイクリング公園へ。このサイクリングコースは一風変わっていて、自動車練習場に見られるような一時停止や踏切、交差点の信号機などが配置されています。

係員から説明を聞いて乗り込んだのは二人乗りの自転車。普通のタンDEM型とは異なり二人が横に腰掛けて走るものです。パートナーを預けたユーザーさんは付き添いの合図でペダルを漕ぎ、ハンドルを切る。初夏の日差しを浴び、風を切った爽やかなサイクリングを楽しみました。

パピーウォーカー体験談に込み上げる感動と熱い涙

フィナーレはワインで有名な勝沼へ。メルシャン勝沼ワイナリー

のワイン工場を見学。解説員の説明を聴きながら原料のぶどうからワインが完成するまでの工程を案内してもらいましたが、今の時期はぶどうの収穫前のため稼働は中止状態で実際のワイン造りの工程を見ることはできませんでした。

見学を終えた一行は帰途のコースへ。バスの車内ではパピーウォーカーの講演記録が流れました。そこにはパピーウォーカーの誰もが体験する出会いと別れの交錯した悲喜こもごもの思いが込められ、聴き入る人に感動と涙を誘わずにはいられないひとときでした。

途中サービスエリアで小休止の後、JR八王子駅で二組に分かれて帰路へ。午後6時過ぎ、無事出発地の平塚に戻り二日間の旅程を終えました。往復の走行距離は約400キロ。楽しいツアープランを企画してくださった芹澤さんに宮川さん、そして安全に私たちを運んでくださったバスのドライバーさん、今回もいろいろとお世話になりました。ありがとうございます。(文・写真 大澤 美貴)

はた犬イベント 「参加おまちしています」

夏祭りとお味の味覚 参加費 ¥2,500

社会福祉法人 光友会の夏祭りとお梨・ぶどう狩り

ぶどうは市場に滅多に出ない“紅伊豆”。忘れられない味覚のこと。ご希望によりイカ焼体験。祭りの最後は“打ち上げ花火”もいだ分の梨とぶどう代は各自負担・昼食と夕(軽食)付。

- 8月26日(日) A.M. 11時 JR 茅ヶ崎駅 集合

水越美奈獣医師セミナー 無料です

“犬を知ろう ～共に幸せになるために”

現在日本獣医生命科学大学助教授の水越先生による恒例のセミナー、ワン家族をより理解してワンダフルに暮らしましょう。

- 9月9日(日) 13:10 開場
- 平塚市民活動センター 2F
JR平塚駅南口下車 海方向へ徒歩約8分

お問い合わせは (e-mail) naoe@hatainu.com (電話) 0463-54-4660 までどうぞ。

引退した補助犬の支援 ネットワークのピンポイント

JSDA「NPO法人日本サービスドッグ協会」

当会と共通の趣旨で活躍している団体“JSDA”をご紹介します。ご了承をいただきリーフレットから抜粋させていただきました。引退犬の最後のパートナーとなるボランティアを確保し、過度な負担がかからぬように支援することで、補助犬の安心な老後を確保できる事を願って活動しています。

発足以来、月に一頭の割りで支援費を支給し、タオルや介護用品等もお届けしていますが、今後の課題として、三つの事があげられます。一つは高額な医療費が掛かってしまった場合に対応する、高額医療基金の設立、二つ目は行き所の無い引退犬を預かる場をいかに確保していくか、三つ目は、盲導犬を引退させたくても持ち替え

の費用が確保できない場合に備えて盲導犬育成を支援する、育成基金の設立。

私たちにはハードルの高い課題が残っておりますが、少しずつ実現に向け前進していきたいと思っております。活動は全て募金や寄付金・会費で運営されています。一人でも多くの方にこの活動を応援していただけますよう、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。JSDAのホームページURL <http://www3.kcn.ne.jp/~y-fami/> (HP内で老犬の世話に関する情報交換等も行っています)

ケア施設(仮称)に向けて

ピンポイントの支援団体がネットワークでつながれば、補助犬に係わる者はどこにいても安心して楽しく暮らせるはずです。

引退した補助犬に対して、育成施設によってもその対応や医療費補助の有無が異なり、引退後の穏やかな暮らしが保障されているとは限りませんし、引退犬を引取っている家庭の負担も様々です。支援活動を行っていく上で、事情によって家庭には戻らなかった引退犬が穏やかに過ごせる場所であり、シャンプーなど体の手入れ、使用者の方と共に一時的に休養できる場所、犬を核とし集う多くの年齢層の方々とのおふれあいの場だったり、旅立つ犬の看取りであったりすることができる場所があるといいと考えました。それらのために利用できるケア施設(仮称)に向け準備を始めました。働く犬を支援する会設立4期なかばに、目的は大きいですが小さな一歩を踏み出しています。皆様のご支援が基盤となっております。今後とも変わらぬご支援ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO法人働く犬を支援する会 栗田 直枝



老犬の足にも優しいクローバーの取っドッグラン

活動の一部ご報告

お陰さまでこんな活動をしています

有難い助っ人の協力で“募金活動”

街頭募金活動による「身体障害者補助犬」への啓発募金活動は今期は既に15回を重ね、皆様方の温かいご理解とご協力により計画した目標額にあと一歩のところまで達成しつつあります。

活動場所はいつも平均して人通りのある鎌倉駅西口広場、あるいは東口の横浜銀行軒先、藤沢駅北口、天候の影響を受けない湘南台駅地下自由通路等を使い分けて行っています。

募金活動にとっては何と言っても主役のワン子達がいてくれないと様になりません。アレックス、ジャスミン、ピーチ、マロン他友情出演多数と退役犬たち。募金活動にはこの中から2～4頭が駆けつけてお手伝いをしてくれます。

活動場所と言導犬はハーネスを外されリラックス、気が向けば子供さん達に愛嬌を振る舞い可愛がられています。盲導犬は体格が大きく小さな子供さんが怖がる時は2頭のボメラニアン、ピーチとマロンがお相手をしています。

ある時車椅子を利用している少年を伴ったご家族が募金をして下さり、ワン子に触りたがっていた少年は大きいワン子は苦手な様だったのでマロンがお相手をして膝にそーとおとなしく座っていました。ごちなくマロンを撫でている手を見ながら、いつかこの少年がすばらしい介助犬に出逢えた時、犬を怖がらずに受け入れて貰えるのだろうと勝手に心温まる想像をしていました。

「募金活動にご協力お願いします」と声をかけるスタッフも、掛声簡潔、明快、低姿勢で声を掛けられると募金をせざるを得なくさせてしまう人、ハンドマイクを使っているのかと間違え位の声の持ち主、ほろ酔い加減の人がワン子に酒のおつまみを食べさそうとするのを丁寧に引取り願う人などそれぞれのキャラクターの持ち主を抱えた一座が明日は、あなたの町に現れるかもしれません。

どうか、今働いている犬を支援する為に！

働きを全うし退役した犬のケア施設建設のために！

ご理解と、温かいご支援をよろしくお願いいたします！！

(♡坊所♡・宮川 記)

若い担い手たちに補助犬PR“学校訪問”

最近数々の中学校から「総合学習」の科目の中で「身体障害者補助犬法に定められている補助犬について学習したいので協力して欲しい」との要請が有り、はた犬では ユーザーさんとその言導犬をお願いして、それに退役犬とスタッフがチームを組んで学校を訪問しています。



相模原ボーイスカウト

「総合学習」は文部科学省が定めた学習指導要領に基づき平成14年度から実施されている新しい教科で、中学校では年間980校時中70～130校時が充てられ国語、社会、数学、理科に並ぶ科目です。

生徒の自主性を尊重して課題の設定、情報収集、整理を生徒自身で行い総合化された知識と技能を身に付け進路の選択に到るまでの思考を促す大きな指針となります。

具体的な学習形態は学校間で異なりますが平日または1日単位にまとめ学外に講演を依頼する事も多い様です。

訪問した例で紹介すると、数名の生徒が核となり課題を設定し、生徒達は学年単位で設定されたいくつかの課題の中からどれかを選び参加します。20～30名が集まる臨時的クラスが出来、教室では机を取り払い椅子に腰掛け、やって来た盲導犬や退役犬を中心に扇形に席を詰めあい温かい雰囲気の中でプロジェクターを使いプレゼンテーションは始まります。

盲導犬になるまでの過程を誕生、パピーウォーカー、訓練、視覚障害者との共同訓練を経てから盲導犬として働き、退役、退役後のケアなどを通じて説明をしています。

特にお願いとして仕事中の盲導犬には

触ってはいけない！

声をかけてはいけない！

食べ物を与えてはいけない！

眼をあわせてはいけない！ を強調してお願いします。

プレゼンテーション終了後、退役犬たちとのふれあいを楽めます。

これが教科だということを忘れ生徒達は大喜びでそれぞれ携帯電話で犬たちとのツーショット写真を撮ったり、抱きしめて離さないまでのスキンシップが短時間に生まれますが、やがて別れづらい授業終了のベル。全員に見送られお互いに別れを惜しみながら校門を後にします。

協力して下さいユーザーさん、ワン子達に感謝！感謝！

(宮川 記)

会員紹介

「おかげさまで3年になりました」

アンソニーとの盲導犬使用者証を頂いてから丸3年になりました。

おかげさまで白杖歩行時よりもまったくケガも事故もなく安全で快適な歩行を提供してくれています。何よりも見えていた頃と同じくらいの早さで歩けること、一人で歩くことの不安から解消され精神的にも大きな支えになってくれていることが、私らしい歩き方を取り戻してくれました。

盲導犬がいたからこそ再び社会に、仕事に復帰できるようになりました。

そして「心から笑える気持ち」をたくさん作ってくれました。

櫻井洋子 & アンソニー

多分目が不自由になってからいくら頑張ってもずっと寂しかったのだろうと思います。

アンソニーは特に問題もなく当初からよきパートナーであり、フォローアップの必要もなく本当によく訓練されたものだと思われ感謝しております。そして盲導犬の育成事業に関わる全ての皆さまへ、深い感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも引退を迎えるその日までアンソニーを大切に仲良く楽しく歩いて行きたいと思っています。

目が不自由になってしまったことはすごく悔しいけれど、きっと私は見えていたときより幸せなんだろうと思いました…。

直輸入のため
お買い得!!

エリンのお気に入り『はた犬グッズ』

お買求めはホームページかお電話で!

<http://www.hatainu.com/>

TEL.0463-54-4660

フーッ
やっと終わった耳掃除!
あー気持ちよかった!!
ZZZZZ...



ノルパサンオティック ¥1,500

獣医さんもおすすめ、耳洗浄液 118ml入



ケッシーラバーブラシ ¥1,000

使って大好評、お手頃なプレゼントに
どうぞ!!

いままでの中で
このゴムブラシが
いちばん気持ち
いい!!

早いっついで待って
なワ早くかばいいのよ
よ!は歯が命
が命



ナイラボーン ¥1,500

歯のエナメル質を傷つせず、歯磨と
ストレス解消に効果大!



たぐさる話って
欲しいなあ



チャーチャンの本

盲導犬チャームとわたしが
一緒に歩いた7年間の思い出。
もっと一緒にいたかった、
もっともって生きていて
欲しかった願い。

外山燕子著
グッドグッドチャーム
定価1,000円(税込送料別)
好評発売中



黄色と黒の2種類
各700円

「はたいぬグッズ」は発送手数料一律500円

会員募集中

12月31日現在
正会員数:27名
賛助会員数:99名

賛助会員は1年間一口3,000円で、一人何口でもがまいません。
申し込みのURL <http://www.hatainu.com/kain.htm>

正会員は入会費8,000円、年会費12,000円です。
申し込みのURL <http://www.hatainu.com/shain.htm>

加入は随時受け付けております。

更新は、入会または更新後約一年経過された会員の方に、当会
からご連絡いたします。皆様のご支援ご協力お願い致します。

特定非営利活動法人

振込先: 働く犬を支援する会

郵便振替: 00200-9-0130454

横浜銀行平塚支店: 普通 2036588

募金箱設置のお願い



本製募金箱

オイル缶募金箱

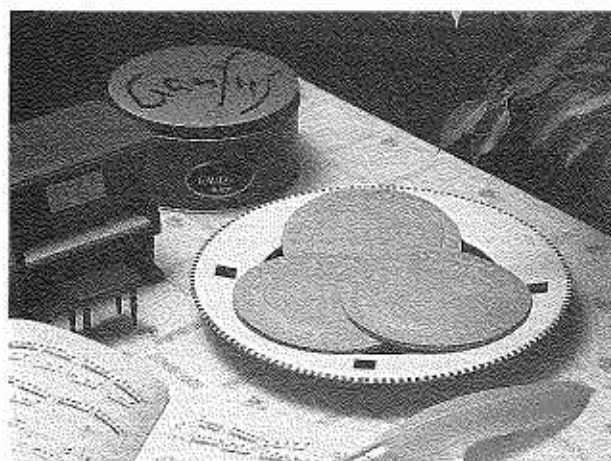
店舗などのレジの近くに募金箱
を置かせてくださる方を募集し
ています。

設置していただける方は、下記
ホームページ、又は

☎ 0463-54-4660

にてお申し込み下さい。

<http://www.hatainu.com/bokin.htm>



甘い香りに包まれてまごころ伝えます

- 洋菓子
- 和菓子



- 喫茶
- パーラー

風月堂

上野廣小路

東京都台東区上野1丁目20-10

TEL. 03 (3831) 1000 FAX. 03 (3831) 1116

補助犬と使用者に寄り添う支援

働く犬

コミコミ紙



発行：働く犬を支援する会 URL: <http://www.hatainu.com/> TEL: 0463-54-4660 〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田 594-32

“犬を知ろう～共に幸せになるために” ワン家族をより理解してワンダフルに暮らしましょう

当会主催の毎年恒例の講演会は第5回を迎え、2007年9月9日JR平塚駅南口前「ひらつか市民活動センター」で開催しました。

今回もポスターやチラシ、メルマガなどを通じた予告PRに加えて朝日新聞「神奈川マリオン」紙面で紹介されたこともあり、定員に迫るほどの参加となりました。

講師を務めてくださったのは初回の講演会以来おなじみの獣医師水越美奈氏で、今回のキーワードは「ワン家族でワンダフルに」。犬という動物の知識と理解を深めることが、良い飼い主になるための秘訣であることを、様々な角度から分かりやすく解説していただきました。



犬種による特徴、本能、生態などを通じた内容をスライド映写によって解説されましたが、特に興味深かったのは「犬の視覚」です。たとえば、赤・オレンジ・黄・緑はいずれも同じ色として認識しているために、赤・青・黄の信号機の色は人間のようには識別できないこと。また青や紫も同じ色として認識しているの、芝生で遊ぶボールの色は青が見つけやすいという説明には、参加者の間からどよめきを呼んでいました。

そのほか、犬の歯の数はどの犬種でも上あご・下あごとも同じであること。虫歯にはなりにくい、2歳以上の80～90%は歯周病に罹りやすく、歯石が多くなると歯周病をはじめ様々な臓器に悪影響を及ぼすため、歯石の除去に心がける習慣が大事である（ここで水越獣医師は食餌が終わった後にガーゼを指に巻いて歯茎マッサージするのが効果的だと説明）。

散歩などの運動は犬種や年齢によって異なること。幼時期から運動量をハードにすると次第に多くの運動量を要求するアスリート犬になってしまう場合もあり、骨格形成上にも悪影響を及ぼすので注意が必要。また、散歩の前後にウォームアップとクールダウンを習慣づけることも大事だと説明された。

今回の講演会では参加者のおよそ80%からアンケートが寄せられましたが、内容については「興味深く参考になった…33人」「具体的内容で参考になった…15人」。また、今後聴きたいと思うテーマでは「犬のしつけ…26人」「犬の健康について…15人」「犬の介護について…13人」など。愛犬家が日常感じている関心を講演の内容に反映しようと図っている主催側として、たいへん参考になりました。

(大澤 美露)

イベントだワン 活動報告

前出の水越獣医師の講演会の他、以下多くの活動を行いました。

イカ焼き140杯完売!!

8月26日社会福祉法人光友会ふくし村まつりでイカ焼きを出店しました。

イカ焼き140杯は勿論、ビールやジュースなどの飲み物も売れ残り無く完売、ふくし村まつりにふさわしい損益無しの健全活動が出来ました。遅くなりましたが皆様方のご協力に厚く御礼申し上げます。

イカ焼きは「はた犬」の「夏祭り」と秋の味覚」のイベントの中の「夏祭り」の部で「梨・ぶどう狩り」とを組み合わせて二倍楽しんでいただけたのではイカと思います。

それだけに落ち度が無いよう、仕入れる品物、数量、販売価格、必要とする用具とその準備段階から担当者等何回も打ち合わせ、ほぼ完璧ではと自画自賛、その記録を残していますので何時でも開店OKです。

さて当日、駒とげそに分けたイカを冷蔵庫から出して、「はた犬」特製タレに漬け、グリルの上で炭火の直火焼き、プリプリに焼けたイカをトレイに乗せて一丁上がり！炭火の煙、焼焦げの匂い、快晴で28℃が揃えばうなぎの蒲焼の店の前に差し掛かったのと同じ、イカ焼きとビールがセットで売れ行き上々（この記事を読んでいるあなたも異議なし！でしょう？）。

でもこの陰には焼き上げの手順を流れ作業化した女性重の知恵と



日頃触った事もない特製タレにイカを貼るような指で漬け込むご苦労、炭火の煙とイカの焦げる煙に包まれたご苦労に敬服いたします。(後日140杯のイカを一人で焼き上げてくださった方は煙の匂いは1週間体に染み付き、髪の毛はイカだけあってセピアカラーに変化したとのことでした。申し訳ありません。)

それに比べて男どものスタッフは何をしていたのでしょうか？準備段階では活躍していましたが本番となると、絶えず焼加減がベストに保てるように炭火をおこしグリルに供給する裏方、パフォーマンスで浴衣、赤タスキ、はちまき姿で淡うちわをバツツカセ火を煽り景気をつけていましたが、女性軍の呼び込み声には及びませんでした。

他にもこんな実力が……

売上好調、採算がとれて幕を閉じましたが、「はた犬」には情報収集力があり、一流ブランドの缶ビールをいかに安く仕入れるか、子供さん方にも喜ばれる飲み物は何だろう？ レトロなラムネを見つけて出したところこれも完売でした。(注釈：重宝感のあるガラス瓶ではなくプラスチック製ですが、ラムネ玉はガラス製で仕掛けは昔と同じ)。顔が広く、交渉力のある人材に恵まれ「はた犬」は本当に幸せです。(宮川元也 記)

ハーネスの会交流研修会に参加して

2007年10月7日・8日と山梨県ハーネス友の会・長野県ハーネスの会共催～温泉と秋の山梨、風林火山の里見学キャンペーン及び研修会～のご案内をいただき、当会理事2名が参加を致しました。

山梨県長野県のハーネスの会両会は2006年から交流研修会を持たれ、一般犬から盲導犬に関する絆・健康問題から今後の盲導犬育成に関してや補助犬法に関する話と、とても幅広くディスカッションをされたそうです。2007年も各ユーザーの出身協会をはじめ、獣医師・パピーウォーカー・退役犬や繁殖ボランティアから支援の会の様々な立場の方々が参加し、昨年の研修会を継承しながら更に掘り下げた研修会にしようという主旨で開催されました。その第2回めの研修会にご案内をいただいたものです。

まず画期的なことは盲導犬に関わる多様な立場の者が一堂に会する機会であることです。内容は必然的に広範囲となりますが、このような機会に各々の思いや課題を共有する事が、補助犬に関わる広義の点で、連携・参画・発展への一歩という期待を大きく持ちました。

秋本番。祭に、イベントに…はた犬ワンコも大活躍！

秋たけなわの10月を迎えると、各地で年中行事の祭が賑やかに行われます。「はた犬」の地元・平塚市で開かれた2回にわたる祭とイベントに、NPO法人「働く犬を支援する会」ではスタッフとボランティアたちが参加して補助犬PRの啓発活動を行いました。

10月21日「なるせまつり」協賛に補助犬PR

爽やかな秋晴れのもと恒例の「なるせまつり」が成瀬産業株式会社の本社広場で開催されました。同社は平塚市をはじめ周辺で長年にわたり多くの実績を有する総合建設業（ゼネコン）として広く知られています。

同社主催の「なるせまつり」は市民との融合と協力を高めるために行っている行事で、当日の販売利益金は福祉事業に寄贈され社会還元を図っているとのことでした。

好天に恵まれた休日とあって開場とともに大勢の市民たちが家族を伴っての賑わいを見せていました。耐震構造住宅の模型デモンストレーションや手作り木工、キッチンの働き手の主役まな板削りと包丁研ぎのメンテナンスでは、本業のプロ職人さんが日頃の腕前を發揮して好評を呼んでいました。



協賛に参加の「はた犬」では社内のガレージを利用して補助犬の一生を紹介するプレゼンテーションの映写、盲導犬・介助犬・聴導犬の仕事解説した写真パネルなどが注目されていました。

また、来場者がアイマスクで目を覆い白杖を手にした歩行と、盲導犬に誘導されての歩行を通じてその有益さを体験するデモンストレーションでは「目が見えなくても盲導犬と一緒にだと安心して歩けることができる」と、口を揃えて実感を語っていました。そのほか盲導犬使用者が犬との情報伝達の用具ハーネスを手にとったり、引退した盲導犬と触れあいを楽しむなど「なるせまつり」の参加は、補助犬デーのPRとして有意義な一日でした。

主催のなるせまつり実行委員会様から、前年に引続き収益から当法人に多額の寄贈をして戴きましたことを、紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

平塚市「福祉フェスティバル」に“補助犬コーナー” 補助犬デモンストレーションでは拍手喝采を…

10月28日の日曜日は朝から曇一つない秋日和。心地よい風が肌をなでる平塚市総合公園の一角「平塚の原っぱ」を会場に恒例の「2007福祉フェスティバル」が、平塚市社会福祉協議会主催のもとで開催され、「補助犬コーナー」への依頼をいただき参加しました。

会場に設けられた幾つもの区画の一つ「福祉学べるゾーン」の中の「補助犬コーナー」には、補助犬トリオである盲導犬・介助犬・聴導犬の働きを解説した写真パネルの展示や、テント内で補助犬を紹介するプレゼンテーションの映写などを披露しました。

補助犬コーナーはゾーンの入り口にあって入場者の目に留まりやすいため、補助犬の説明写真には多くの人から注目を集めていました。

午前・午後の催し物終了後に「補助犬デモンストレーション」が



敷地面積50坪 延床面積60坪（1階23坪、2階23坪、3階14坪）
エコキュートシステムのオール電化住宅 5室に床暖房を設置しました。調理には、すべて電磁調理器を使用します。犬たちが使う部屋の窓は、犬の視線を配慮し低い位置で安全なジャロジーを取り入れられました。獣医師の助言で保健室のように使う部屋は床材を壁まで立ち上げ施工し、壁と床との隙間を無くし尿等の浸透防止を図りました。

建設資金は、当会が家主に問取りと主要構造を提示して建設依頼し、家賃で返済していきます。

大磯町

湘南発祥の地大磯町は、相模湾の中央に面し大磯丘陵に囲まれ温暖でゆとりのある住宅地です。鎌倉、江戸時代に東海道五十三次の宿駅として栄え今も松並木（ケア施設より徒歩約5分）が残っています。また、縄文、弥生時代の古墳群や、史跡、島崎藤村の墓など、歴史が身近な町です。またケア施設から大磯海水浴場には、徒歩約3分。丹沢から海水を飲みに来るアオバトが集団飛翔する鷺ヶ崎岩礁には、徒歩12分、テレビ塔がそびえ相模湾が一望できる湘南平（標高181m）へは、1時間のハイキングコースです。自然豊かな大磯町です。

JR東海道線大磯駅からケア施設まで徒歩約12分です。駐車場は2台分のみです、原則的に徒歩でのご訪問をお願い致します。

平成18年度 事業報告書

1 事業活動方針

平成18年度は前年度の実績を基に、補助犬使用者のご協力を得て街頭啓発活動の実施、ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行いました。補助犬使用者との研修旅行や講習会の実施により、補助犬の啓発活動を行いました。補助犬、セラピー犬等の退役犬施設の開設を早期に実現するため、調査研究をより活発に推進、ケア施設（仮称）の地鎮祭を9月10日に行いました。毎年行っています講演会をより広い視点で行うため、補助犬セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業で行いました。補助犬育成団体の五団体に総額81万円の助成を行いました。

2 事業内容

I 特定非営利活動に係る事業

- (1) 補助犬 セラピー犬育成団体への助成事業
・補助犬育成団体への助成を目的に、資金確保のため13回の街頭募金活動を行いました。
・6月9日（財）日本盲導犬協会様へ10,000円
9月28日（財）北海道盲導犬協会様へ300,000円、（財）栃木盲導犬センター様へ200,000円、（財）関西盲導犬協会様へ200,000円（社福）日本聴導犬協会様へ100,000円の助成を行いました。
- (2) 補助犬 セラピー犬に関する調査研究事業
・9月19日 ケア施設準備ため財団法人関西盲導犬協会を訪問し広報活動を行い、ご担当者から協会の施設をご案内いただきました。
- (3) 補助犬 セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業
・2月5日 会報「働く犬」（第6号）を発行いたしました。印刷部数500部 無料配布数210部。
・7月26日 会報「働く犬」（第7号）を発行いたしました。印刷部数500部 無料配布数220
・随時ホームページの更新を行い、イベントなどの紹介をいたしました。
・奇数月にメールマガジンを発行いたしました。平成19年9月の送信数は362通です。
・9月9日 水越美奈獣医師を講師にお招きし、第五回講演会をひらつか市民活動センターで開催いたしました。テーマ「犬を知ろう～共に幸せになるために」。

参加者数60名 補助犬6頭、

- ・8月26日 盲導犬使用者との懇親会を藤沢市内の観光農園で梨狩り・ぶどう狩りを楽しんだ後、（社福）光友会の夏祭りに参加して実施しました。当会の参加者数13名 補助犬2頭
- ・11月7日と15日 大磯小学校4年生の総合学習の授業への協力。
- ・1月24日 鶴巻中学校総合学習体験学習（福祉）の授業への協力。
- ・2月1日 中野中学校の福祉学習の授業への協力。
- ・2月27日 鳥屋中学校の福祉学習の授業へ協力。
- ・3月8日 根小屋小学校の福祉学習の授業へ協力。
- ・3月21日 横浜ペットコミュニティ専門学院様と意見交換を行いました。
- ・5月20日 津久井第2団ボーイスカウトの皆様へ体験講座を実施。
- ・6月14日 鳥屋中学校の福祉学習の授業へ協力。
- ・9月18日 中野小学校保護者と学童の皆様へ補助犬のお話をさせていただきました。

(4) 補助犬のケア事業

盲導犬を対象にシャンプー 14回、長期預かり 1頭、一時預かり 4泊を実施しました。

(5) 補助犬 セラピー犬等の退役犬施設の開設・運営

退役犬ケア施設（仮称）の建設準備のため補助犬育成団体の退役犬ケア施設の見学、設立資金を留保するため街頭募金を9回行いました。

- ・2月5日 北海道盲導犬協会の老犬ホームを理事4名が訪問し、施設のご案内とご教示をいただきました。
- ・6月9日（財）日本盲導犬協会「富士ハーネス」を盲導犬使用者5名とともに18名で訪問し、引退犬棟などの見学をいただきました。

II その他の事業

(1) 物品の販売

ホームページ、会報などで働く犬関連商品を販売しました。

(2) ホームページ、機関紙への広告掲載事業

機関紙へ1社の広告掲載を行いました。

平成18年度 決算報告書

貸借対照表

平成19年9月30日現在 (単位千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-----------|-------|--------|-------|
| 現金手許有高 | 207 | | |
| 普通預金・振替口座 | 2,636 | | |
| 商品在庫 | 23 | | |
| | | 次年度繰越金 | 2,866 |
| 合計 | 2,866 | 合計 | 2,866 |

損益計算書

平成18年10月1日～平成19年9月30日 (単位千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|-------|-------------|-------|
| 会費・入会金収入 | 659 | 育成団体助成事業 | 1,023 |
| 参加料、利用料収入 | 621 | 調査研究事業 | 32 |
| 街頭募金収入 | 1,617 | 普及啓発情報提供事業 | 370 |
| 募金箱収入 | 219 | 補助犬のケア事業 | 323 |
| 寄付金収入 | 603 | 退役犬施設の開設・運営 | 729 |
| その他の事業収入 | 106 | その他の事業 | 70 |
| | | 管理費 | 192 |
| 前期繰越利益 | 1,780 | 次年度繰越金 | 2,866 |
| 合計 | 5,605 | 合計 | 5,605 |

2回にわたって行われましたが、主催のイベント実行委員会による宣伝チラシに取り上げられていただけに、実演場には大勢の観客が詰めかけていました。

まず始めに盲導犬の歩行誘導シーンでは元盲導犬訓練士の解説によって、盲導犬が使用者からの指示語に従い通路の角を曲がったり、通路上に設けられた様々なバリアを巧みに避けながら



歩行を誘導する状況を展開。続いて使用者とのモデル歩行を披露しました。

デモンストレーションのハイライトは観客による体験歩行です。名のり出た人はアイマスクで目隠しをして白杖で通路を探りながら恐る恐る足を進めていたのが、杖に替えて犬と共に歩き出すとまっすぐにスイスイと。テストを終えてのインタビューでは「目隠しでは足が震えて思うように歩けなかったのが、盲導犬といっしょだと安心して歩けることに驚きました」と、盲導犬の働きに称賛の声をあげていました。

秋晴れの会場は少し汗ばむようでしたが、補助犬デモンストレーションをはじめ福祉フェスティバルに協力いただいた皆さん、モデル出演の盲導犬に引退犬のワンコたち、本当にありがとうございますとお礼を申し上げます。
(文・写真 大澤 美賀)

ごあいさつ

役員一同

あけましておめでとうございます。皆様のご健康、ご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。皆様のご支援を賜り第五期を迎えることができます感謝を申しあげ、年頭のご挨拶をさせていただきます。

昨年は亥年で当会においても猪突猛進の年でした。当会もケア施設開設、学校等での啓発活動などに猛進した年でした。

当会事務所の近くの会社に勤められているマロン・ビーチのパートナーさんが活動に参加いただいたことは、「はた犬」7号の記事でご紹介しました。街頭募金中ボランティアへの参加を申し込まれた方、ホームページより当会会員に加入していただいた方、街頭募金を見て募金箱の設置を申しこまれた店舗の方、またJR鎌倉駅に面する店舗のエントランスを募金活動に提供していただいた銀行など一同にとって活動の大きな励みとなりました。

12月1日当会の総会で第四期の事業報告、第五期の事業計画の承認が行われました。詳細はこの紙面で報告させていただきます。

設立以来継続してきた「補助犬と使用者に寄り添う支援」を合言葉に随時更新するホームページ、奇数月に発行する無料メールマガジン、年2回発行の機関紙による情報提供活動、街頭や学校市民イベントでの啓発活動、そしてケア事業の3本柱をより充実し、前年

度に引き続き、補助犬使用者や関わる方々に犬と共に快適な社会生活ができるよう活発に活動していきます。当会の活動は、随時メールマガジン、ホームページ、機関紙などで広く公開していきます。

前年度のご支援に深く感謝致しますとともに、一同益々精進し本年度も皆様のご支援を賜れますよう努力致して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

退役犬ケア施設(仮称)

補助犬育成団体における退役犬ボランティアが不足した場合やその負担を軽減するための支援を目的とし、退役犬の飼育、使用者とのくつろぎの場、補助犬のショートステイ・デイケア、補助犬使用者への情報提供、補助犬に関わるボランティアや愛犬家のコミュニケーションの場として、神奈川県大磯町にケア施設を建設中です。

個人宅等を利用して退役犬施設を開設される万のモデルケースとなるよう、人・犬にやさしいバリアフリーで、2月末完成予定です。

概要

木造三階建てホームエレベータ(三人乗り)を設置したバリアフリー構造です。



当会の平成19年度の事業報告書等の詳細は、神奈川県民総務室NPO協働推進室で閲覧することができます。

総会議事録

開催日時 平成19年12月1日 午後4時30分より
 開催場所 日本ワゴン株式会社 本会議室
 正会員数 27名
 出席者数 9名
 決議権行使書提出者数 11名

司会より栗田直枝氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

議長は議長席につき出席者と決議権行使書提出者の総数が、正会員数の過半数を超えているのを確認し午後4時45分理事会の開催を宣した。

第1号議案 平成18年度事業報告書、収支報告書承認の件

議長は理事長に事前に配布した第四期事業報告書に基づき内容を説明の上これを議場にはかったところ、満場一致で可決決定した。

第2号議案 平成19年度事業計画書、収支計画書承認の件

議長は理事長に事前に配布した第五期事業計画書に基づき内容を説明させこれを議場にはかったところ、満場一致で可決決定した。議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することをはかり、大澤美賀氏及び宮川元也氏を選任することを全員異議なく承認した。

以上をもって総会の議案審議を終了したので、議長は閉会を宣し午後5時30分散会した。

募金箱を設置していただきありがとうございました。

上野風月堂様 いしん堂様 宮瀬歯科医院様 ギャラリー蘇木様 大坪歯科医院様 長谷川龍子様 サンイースト様 カフェバモス様 蓮やBar 鴻様 こりとろハウス様 わんにゃんワールド様 成瀬産業株式会社様 河田動物病院様 Dog Salon Baby Dog様 湘南サポートわかばの会様 有限会社よしなが様 日本ワゴン株式会社様

ご寄付ありがとうございました。

太田千恵美様 小沢尚子様 なるせまつり実行委員会様 磯崎司法事務所様 高橋敏雄様 宮川元也様 玉井美穂子様 小山恭子様 和田洋六様 五十嵐光雄様 五十嵐紀子様 吉田重幸様 新井ミチ様 日古恵子様 叶内昌明様 速藤恵美子様 坊所こずえ様 谷口龜三郎様 セルブ湘南様 湘南サポートわかばの会様

今後とも当会へのご協力よろしくお願いたします。

年間行事予定

10月 街頭啓発活動
 11月 街頭啓発活動、メルマガ発信、学校啓発活動
 12月 街頭啓発活動、総会、理事会
 1月 街頭啓発活動、メルマガ発信、会報「働く犬」発行
 2月 街頭啓発活動、学校啓発活動
 3月 街頭啓発活動、メルマガ発信、ケア施設竣工式、開所式
 4月 街頭啓発活動、学校啓発活動
 5月 街頭啓発活動、メルマガ発信、
 6月 街頭啓発活動、補助犬使用者との研修旅行
 7月 街頭啓発活動、メルマガ発信、会報「働く犬」発行
 8月 親睦会
 9月 街頭啓発活動、メルマガ発信、学校啓発活動

平成19年度 事業計画書

1 事業活動方針

平成19年度は、前年度の実績を基に、補助犬使用者の協力を得て街頭啓発活動の実施、ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行います。無料で学校の授業や、市民イベントなどに協力いたします。補助犬使用者と共に研修旅行や講習会を実施し補助犬の啓発活動を行います。2月完成予定の退役犬ケア施設（仮称）の堅実な運営に努力いたします。引き続き補助犬育成団体への助成を行います。

事業内容

I 特定非営利活動に係る事業

- (1) 補助犬 セラピー犬育成団体への助成事業
 - ・前期までに貯蓄した資金を基に補助犬育成団体に助成金の寄付を行います。
- (2) 補助犬 セラピー犬に関する調査研究事業
 - ・補助犬育成団体との意見交換、補助犬使用者などの団体との意見交換を行い機関紙、メールマガジンに掲載いたします。
- (3) 補助犬 セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業
 - ・普及啓発及び情報提供活動を実施するため機関紙の発行、ホームページの更新、メールマガジンの配信、親睦会の実施、無料で総合学習や福祉学習に協力します。当会の主旨に沿った市民イベント等への協力を行います。一般及び補助犬使用者に向け、犬に関する情報提供を目的として無料講演会を開催いたします。
- (4) 補助犬のケア事業
 - ・補助犬を対象にシャンプー、長期短期の預かりを行います。
- (5) 補助犬 セラピー犬等の退役犬施設の開設・運営事業
 - ・退役犬ケア施設の、運営費を確保するため街頭募金を行います。円滑な運営を行うため器具備品の充実をはかります。退役犬ケア施設（仮称）の運営のため補助犬育成団体の施設を補助犬使用者とともに見学、意見交換をおこない当会の施設のアピールを行います。

II その他の事業

- (1) 物品の販売
 - ホームページ、機関紙、イベントなどで働く犬関連商品を販売いたします。
- (2) ホームページ、機関紙への広告掲載事業
 - ホームページ、機関紙へ広告掲載を行います。

平成19年度収支予算書

平成19年10月1日～平成18年9月30日 (単位千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|-------|-------------|-------|
| 会費・入会金収入 | 685 | 育成団体助成事業 | 208 |
| 参加料、利用料収入 | 630 | 調査研究事業 | 35 |
| 街頭募金収入 | 1,500 | 普及啓発情報提供事業 | 418 |
| 募金箱収入 | 250 | 補助犬のケア事業 | 337 |
| 寄付金収入 | 750 | 退役犬施設の開設・運営 | 4,045 |
| その他の事業収入 | 108 | その他の事業 | 74 |
| | | 管理費 | 207 |
| | | 予備費 | 250 |
| 前期繰越利益 | 2,866 | 次年度繰越金 | 1,215 |
| 合計 | 6,789 | 合計 | 6,789 |



直輸入のため
お買い得!!

エリンのお気に入り『はた犬グッズ』

お買求めはホームページかお電話で!

<http://www.hatainu.com/>

TEL.0463-54-4660

フーツ
やっと終わった耳掃除!
あー気持ちよかった!!
ZZZZZ...



ノルバサンオティック ¥1,500
獣医さんもおすすめ、耳洗浄液 118ml入



ケッシーラバーブラシ ¥1,000

使って大好評、お手頃なプレゼントに
どうぞ!!

いままでの中で
このゴムブラシが
いちばん気持ち
いい!!



ナイロンボーン ¥1,500
歯のエナメル質を傷つけず、歯磨と
ストレス解消に効果大!

いつまで待って
も歯が
よくなる
よ!は歯が
命



たくさん買って
欲しいなあ



チャーちゃんの本

盲導犬チャームとわたしが
一緒に歩いた7年間の思い出。
もっと一緒にいたかった、
もっともって生きていて
欲しかった願い。

外山恭子著
グッドグッドチャーム
定価1,000円(税込送料別)
好評発売中



黄色と黒の2種類
各700円

「はたいぬグッズ」は発送手数料一律500円

会員募集中

12月31日現在
正会員数: 27名
賛助会員数: 102名

賛助会員は1年間一回3,000円で、一人何回でもかまいません。
申し込みのURL <http://www.hatainu.com/kain.htm>

正会員は入会費8,000円、年会費12,000円です。
申し込みのURL <http://www.hatainu.com/shain.htm>

加入は随時受け付けております。
更新は、入会または更新後約一年経過された会員の方に、当会
からご連絡いたします。皆様のご支援ご協力お願い致します。

特定非営利活動法人
振込先: 働く犬を支援する会
郵便振替: 00200-9-0130454
横浜銀行平塚支店: 普通 2036588

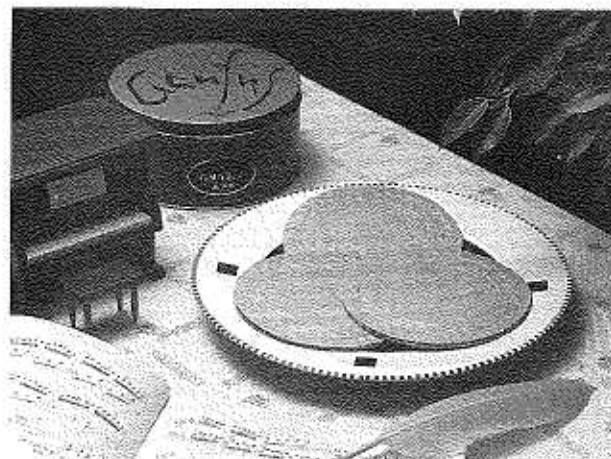
募金箱設置のお願い



木製募金箱 オイル缶募金箱

店舗などのレジの近くに募金箱
を置かせてくださる方を募集し
ています。
設置していただける方は、下記
ホームページ、又は
☎ 0463-54-4660
にてお申し込み下さい。

<http://www.hatainu.com/bokin.htm>



甘い香りに包まれてまごころ伝えます

- 洋菓子
- 和菓子



- 喫茶
- パーラー

風月堂

上野廣小路

東京都台東区上野1丁目20-10
TEL. 03 (3831) 1000 FAX. 03 (3831) 1116